

MELONcafe プチ講座トーク&エコレッスン

毎月「オシャレですぐにできるエコ」をテーマにエコを体験するプチ講座を開催しています。

12月『リメイクキャンドルでキャンドルナイト★』

12月22日は冬至、〔100万人のキャンドルナイト〕の日です。100万人のキャンドルナイトは、夏至と冬至の夜8時から10時までの2時間だけ電気を消して、キャンドルの灯りでゆっくり過ごそう、と呼びかけている自主参加型の運動です。

MELONcafeでも自宅で気軽にキャンドルナイトを楽しんでもらおうと2つの企画を実施しました。

19日(土)には市内ホテルから提供していただいた使用済みのウェディングキャンドルを利用して、卵型のリメイクキャンドル作りを行いました。卵の殻に溶かしたロウを流し込み、芯を差し込むだけのエコでかわいいキャンドルです。さらに、殻にはペンやシールで自由に装飾することもできます♪

22日(火)冬至の夜には、19日に作成した卵型キャンドルも使い、本物のカフェ「mon st.lou (モ

ン・サンルー)」をお借りしてキャンドルナイトを行いました。木の温もりのある落ち着いた雰囲気のカフェが、キャンドルの淡く揺れる灯に照らされる様子はとても幻想的。そんな中で、キャンドル作家のito ayaさんにキャンドルの話を伺いながら、ゆっくりとした時間を過ごしました。

冬至以外の日にも、お家でキャンドルナイトを試してみませんか? 過ごし方は自由、きっといつもよりゆっくりと穏やかな夜が過ごせますよ★



2月のプチ講座「エコに温まるホットドリンク作り」

1回目 20日(土) 13:30~14:30

2回目 23日(火) 18:30~19:30

3月のプチ講座「ガラスエッチングで瓶をリメイクしよう!」

1回目 20日(土) 13:30~14:30

2回目 23日(火) 18:30~19:30

【参加費】300円 【定員】各回10名程度 *要・申し込み



こんどはどんぐりからの手紙

「おかしなハガキが、ある土曜日の夕方、一郎のうちにきました。」山ねこからの手紙です。一郎はよびだしにに応じて、会いに行きます。どんぐりたちが、誰が一番えらいかでもめているので、なんとかしてほしいというのです。

どうも「賢治」と聞いただけで、なんとなく背筋をのばさなければならないような気になってしまう。この一郎もりっぱな『裁定』だ。これまでの絵本はその背筋の延長上で絵が描かれていたような気がします。でも、この宮澤賢治の「どんぐりと山猫」(三起商行株式会社、2006年10月)は田島征三の絵があるだけに、もっと生き生きとした物語に生まれ変わっています。奔放で力強いこの絵に触発されて、実は読み方まで変わってしまうのです。ああ、文章が音になったらなあ! …まあ、とにかくも読み手を楽しませてくれる本です。

さて、わたしのところにも来ましたから、あなたのところにも手紙がきているはず。たぶん、今

年の10月の中旬頃でしょうか。残念ながら山猫からではなく、あの絵本の中で騒いでいたどんぐりたちからなのです。手紙にはこう書いてありましたね。「今年の秋になってからみやぎ県でもナラの木が枯れているのが見つかりました。きょう、仙台でも初めてこの『ナラ枯れ』が見つかりました。わたしたちは『だれがだれよりどうだ』とかなんていっていらなくなりまして。どうぞおいでください。」

ミズナラやコナラなどどんぐりの木が枯れていく「ナラ枯れ」はどんどん広がっているようです。どんぐりたちの泣き顔が目には浮かびます。カシノナガキクイムシというどこで区切ったらいのかかわらないような名前の害虫がミズナラやコナラ、シイ、カシなどにトンネルを掘って入り込み、そのときに木にとって有害な菌を持ち込むのです。これまでは、被害があってもこのようにどんどん広がっていくことはなかったのですが、1990年代に入ってから被害は拡大しているのだそうです。

里山を大事にしていこうという人たちも増えていますが、人間の生活が里山を必要としなくなったことで、里山の木々と昆虫の関係はもっとはげしく変わってきているのです。里山へ行ってみますか? でも、どんぐりに会ったら、何をどう裁いたらいいのでしょうか。

